

## DigitalBook Creatorの提供を始めました

### —利用の手引きシリーズ—

京都大学電子図書館では、テキスト型コンテンツの専用閲覧ソフトとして富士通社製 Info-Brick を学内の電子図書館用専用端末で使用してきましたが、平成11年1月から KUINS に接続された Windows 95 の端末から利用できるように、マイクロソフト社製ブラウザ Internet Explorer に対応した富士通社製プラグイン DigitalBook Creator の提供を始めました。

これにより、ブックメタファ（コンテンツを「本」の形式に表示する等の機能）をはじめとした数々の読書支援機能が利用できます。電子図書館ホームページ (<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/minds.html>) からダウンロードして使用してください。

制限事項、提供機能等は次のとおりです。

#### 【使用許諾】

『DigitalBook Creator』（以下、本プラグイン）は京都大学内で、京都大学電子図書館システムを閲覧する目的に限りご利用いただけます。

したがって、二次配布については認められていません。

#### 【動作環境】

本プラグインは、Microsoft (R) Windows (R) 95の以下のソフトウェアで動作するプラグインです。

—Microsoft Internet Explorer 3.02 (Windows95日本語版)

—Microsoft Internet Explorer 4.01SP1 (Windows95日本語版)

※ Microsoft Internet Explorer 4.0 (Windows95日本語版)では正常に動作しません。Microsoft Internet Explorer 4.01SP1 で利用ください。

※ MacOS および Netscape (R) Communicator については対応予定です。

#### 【提供機能】

本プラグインで、以下の電子読書支援機能が利用可能となります。

##### (1) ブックメタファ

参照する図書を画面上に「本」形式で通常の本を読む場合と同様に見開きで表示し、ページをめくる操作で読書することを可能にした機能。

「縦書き」を意識した情報は、縦型に表示することも可能。

##### (2) 付箋

読書中の情報に付箋をつけて、それらに注釈などを書き込むことを可能とした機能。

付箋を設定した場所は「見開き」表示された図書に表示。複数の付箋間にリンク関係を設定可能。

##### (3) 音声朗読

読書時に音声朗読を開始する箇所を指定することにより、テキストを音声で得ることが可能。

##### (4) 機械翻訳支援

読書時に機械翻訳を開始する箇所を指定することにより、テキストの翻訳結果を得ることが可能。

※ この機能を利用する場合は以下のソフトウェアが別途必要です。

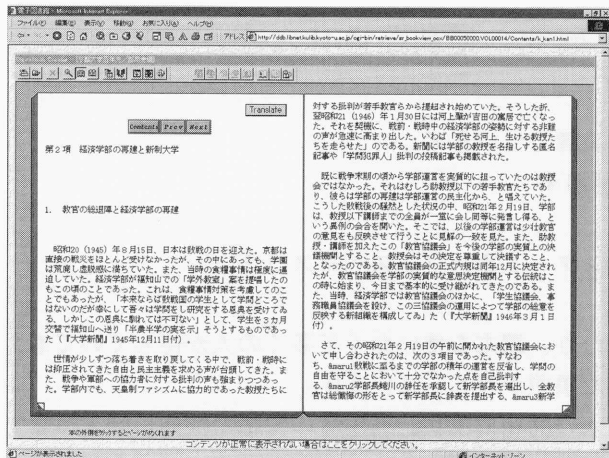
富士通 ATLAS EJ V4.0(型名：B298C4051) 富士通 ATLAS JE V4.0(型名：B298C4061)

##### (5) 辞書参照

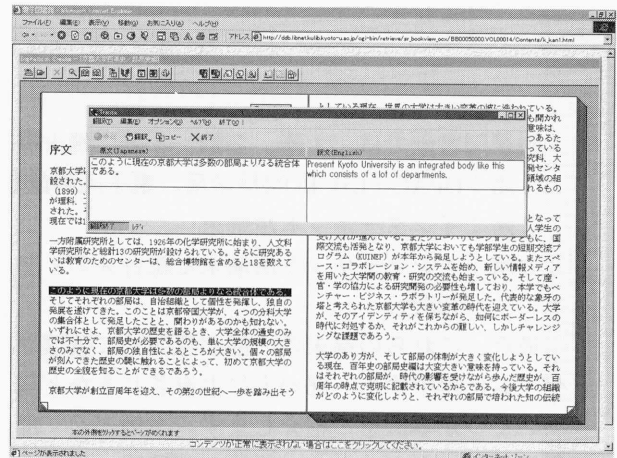
確認したい言葉と参照する辞書を選択して言葉の意味、内容を確認可能。

※ この機能を利用する場合はパソコン本体の CD-ROM 装置に EPWING 形式の CD-ROM が別途必要です。

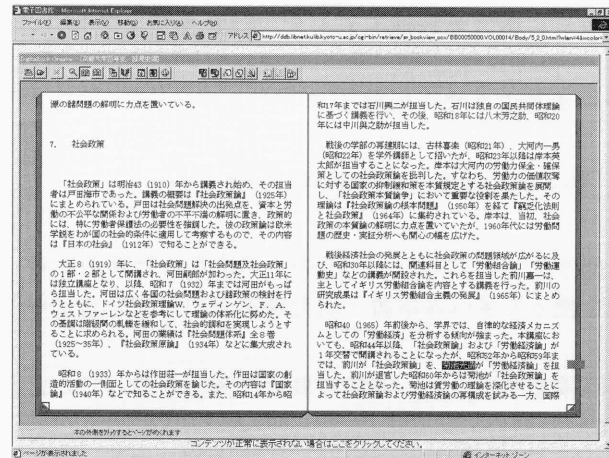
(1) ブックメタファ画面



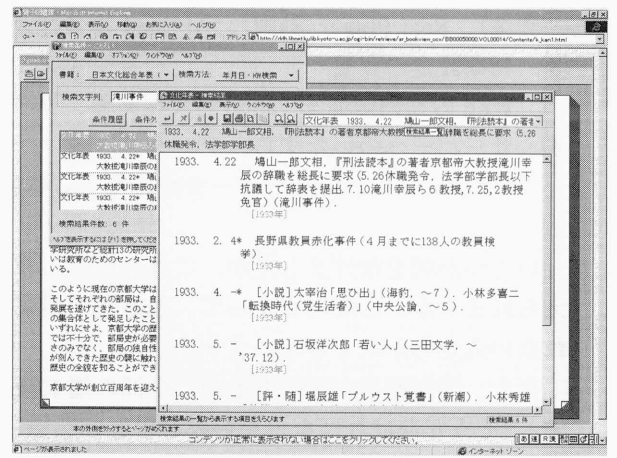
(4) 機械翻訳画面



(2) 付箋画面



(5) 辞書参照画面



(3) 音声朗読画面

